

平成 31 年度事業計画

1. 会議の開催

- ① 理事会 2 回、評議員会 1 回以上開催する。

2. 機関誌の発行

- ① 「書学」（不定期）、「不二（一般・中高・上級・初級）」、「ぺんの力」（毎月）計 6 誌を継続発行する。更に今後も伝統書道の普及を目指し、より一層の内容の充実を図る。

3. 月例競書審査会

- ① 毎月 1 回清書の提出により、月例審査会に於いて段級位の認定を行う。
- ② 審査及び事務処理体制の充実を図る。
- ③ 全国的な連帯を図るべく、各地の優秀教場・教室長を地方審査員として迎える。

4. 昇格・昇段試験

- ① 第 1 回 6 月、第 2 回 9 月、第 3 回 12 月、第 4 回 2020 年 3 月に実施する。
- ② 「一般版」、「ぺんの力」において会友試験を年 1 回 11 月に実施する。なお、一般版部門については各段級位に正・準の 2 階級制度を実施し、「会友」資格への実力向上を図る。

5. 会員登録

- ① 公認段級位制、厳正な管理の一環として、引き続き一般版・ぺんの力・中高版・上級版においてバーコードによる段級管理を実施し、段級の厳格化および発表の正確性、月例審査の効率化を図る。
- ② インターネットによる段級位の発表を毎月実施し、国内・海外の会員等に対し、学習のサポート体制の強化を図る。

6. 書学院

- ① 神田・大阪・川奈・新潟・九州の各書学院で継続開校する。
神田・大阪書学院では年 3 期制（4 月・9 月・2020 年 1 月開講）とし、2 年間で師範取得を目指す。川奈・新潟・九州書学院では、年 2 期制とし、3 年間で師範取得を目指す。

7. 全国優秀教場・教室長表彰の開催

- ① 本会の創立記念日にあたる4月3日(水)に如水会館に於いて、不二誌を通して指導を行っている全国の教場長、教室長を対象に表彰並びに会議を実施する。
- ② 全国の教場長、教室長に平成31年度の総務を委嘱する。

8. 資格及び実力の認定

- ① 師範・司教・助教の資格認定、上級・中級・初級の実力認定、および公認段級制度による段級の認定を行う。

9. 第59回全国書道検定試験・第39回全国ペン硬筆検定試験の実施

- ① 5月25日(土)～6月10日(月)、10月19日(土)～11月4日(月)に行い、実地試験は5月26日(日)に神田書学院(東京都)に於いて実施する。司教以下の試験は自宅受験として実施する。

10. 写経塔・筆塚供養祭の開催

- ① 写経塔・筆塚供養祭の開催。
供養祭を10月6日(日)に東洋文化不二研修所に於いて実施する。
- ② 平成31年4月には150万巻達成が見込まれ、10月に150万巻達成の大供養祭を行うにあたり準備を進める。

11. 新和様・漢字造型書作家協会

- ① 漢字かな交じり書「新和様」及び「漢字造型」の研究普及活動を推進し、展覧会・講習会等を開催する。
- ② 第25回 新和様・漢字造型書作家協会選抜展の開催
会期：7月16日(火)～7月21日(日)
会場：東京芸術劇場
- ③ 第31回 新和様・漢字造型書作家協会色紙展の開催
会期：8月30日(金)～9月1日(日)
会場：神田書学院
- ④ 講習会の開催
- ⑤ 会報・研究誌の発刊

12. 石橋犀水遺業顕彰

- ① 犀水の作品の整理、作品の状態の把握、作品の保管環境の改善を図り、犀水記念室の設立準備を行う。

1 3. 第 41 回全国公募千字文大会

- ① 学校法人扶桑学園 日本書道藝術専門学校と共催し、日本書道藝術専門学校と東洋文化不二研修所に於いて開催する。
- ② 会 期：9月21日（土）～9月23日（月）
- ③ 授賞式：9月22日（日）
- ④ 会 場：日本書道藝術専門学校、東洋文化不二研修所
- ⑤ 優秀作品には文部科学大臣賞、静岡県知事賞他を贈る。

1 4. 第 12 回「漢字造型」と「傳統の寫經」展

- ① 会 期：9月17日（火）～9月22日（日）
- ② 会 場：東京鳩居堂画廊

1 5. 第 69 回書道學會展

- ① 会 期：2020年1月4日（土）～1月10日（金）
※第二会場（東京芸術劇場）は2020年1月4日（土）～1月9日（木）
- ② 会 場：東京都美術館（第一会場）、東京芸術劇場（第二会場）
- ③ 役員の優秀作品には内閣総理大臣賞他、公募の優秀作品には文部科学大臣賞他を贈る。

1 6. 第 69 回全日本学生書道展

- ① 会 期：2020年1月4日（土）～1月10日（金）
- ② 会 場：東京都美術館
- ③ 優秀作品には文部科学大臣賞他を贈る。

1 7. 2020 年書初不二誌上展

- ① 不二各誌およびぺんの力の3月号にて、成績ならびに特選作品を掲載する。

1 8. 第 33 回不二現代書展

- ① 会 期：2020年3月17日（火）～ 3月22日（日）
- ② 会 場：大阪市立美術館
- ③ 役員の優秀作品には新和様・漢字造型書作家協会賞、公募の優秀作品には文部科学大臣賞、大阪府知事賞他を贈る。

19. 文部科学省認定社会通信教育

- ① 「書道基礎科講座」、「書道専攻科講座」、「ペン習字教育講座」「ペン習字基礎講座」、「篆刻入門講座」の5講座を継続実施する。
- ② 別に併設講座として「速習ペン字講座」「写経入門講座」を継続実施する。
- ③ 書道・ペン既存講座の教材の改訂を順次行う。通信教育講座の受講料は、教材改訂後順次見直しを行う。

20. 伊豆川奈東洋文化不二研修所

- ① 継続運営する。
資料館に於いて書道名蹟を展示し、書道大研修室、視聴覚室、写経道場、坐禅道場、茶室等の場を供し、恵まれた環境の中で書道研修を行い、心身共に調和した学書者を養成する。引き続き、書道名蹟、文房四宝、蔵書の整理も行う。

21. 後援・講習会

- ① 全国書学院に於いて写経実践会・書塾指導者講習会などの講座を実施する。
- ② 全国不二教場・教室主催の書道展・講習会に後援協力する。

22. 書道教育推進事業

- ① 平成18年度より内閣総理大臣の認定を受け、「書道教育特区」として実施されていた「書道」授業を引き続き東京都新宿区の1校において実施し、伊東市内の全小学校10校、静岡県長泉町の小学校3校、さらには静岡県裾野市の小学校1校で、日本書道芸術専門学校の主導のもと、本会の書道師範免許取得者の派遣を継続し、全国各地に「書道」授業導入の支援を行う。

23. インターネットの活用

- ① 会員の利便性を高めるため、平成28年12月にホームページをリニューアル。段級検索機能や納経巻数検索機能の他、会員からの声や活字課題、優秀作品、展覧会案内、受賞作品の掲載など、より多くの情報を提供していく。

24. 書画・書籍の修復・維持

- ① 長期的な視点に立って、石橋犀水の作品の整理、作品の状態の把握、作品の保管環境の改善を図り、また、不二研修所内の作品、書籍の整理及び保管を行う。

25. 公益事業拡張のための不動産取得

- ① 事業拡張のための不動産取得を進める。

以上